

おれんじの屋根

施設長より

初めての「地域連携推進会議」の開催

「地域連携推進会議」は、①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設や利用者への理解の促進などを目的に、年1回以上、地域の関係者を含めた外部の人、利用者さんご家族の代表が参加される会議です。令和6年度の報酬改定で、障害者支援施設とグループホームに、令和6年度は努力義務、7年度以降は義務となりました。

まず、しょうぶの里の分を3月上旬に開催しました。グループホームは次年度から開催する予定です。

当日は、利用者さんの代表の構成員(委員)がいることに配慮して、スクリーンに投影した「しょうぶの里のご説明」(パワーポイントで作成)や「しょうぶの里の1年間のご報告」、松下さんの「no art no life」の動画など、画像や映像がメインの資料を用意しましたが、外部の方にも、今回のような視覚的なものが分かりやすくよいと思われました。

委員をお願いした利用者さんには、質問が出たときは、全部答えてくださいねと伝えていました。元々しょうぶの里近くに自宅があって、しょうぶの里にお出でになる前のこともよく覚えていらっしゃる方で、「楽しい活動は何ですか?」、「何かしてみたいことはありますか?」、「困っていることはありませんか?」など、しょうぶの里での生活のことも含め、いろいろなお尋ねにきちんと答えていただけました。

地元の委員さんには、今回は、同日に開催した苦情解決第三者委員をお願いしましたが、地域とのよりよい関係づくりや事業所や利用者さんへの地域の方々の理解を図るという会議の趣旨を大切にすれば、今後、回を重ねる中で、より多くの地域

の方に参加してもらうのがよいと思いました。

委員からは、コロナ禍で地域の行事がなくなっている。いったんなくなった行事を復活させるには大きなエネルギーがいるとお話もありました。確かにコロナ禍前に比べると地域との交流の行事や機会が格段に少なくなっています。

そのことを考えると、義務化で始めたものの、地域とのよりよい関係づくりや事業所や利用者さんへの地域の方々の理解を図ることを目的としてこの会議を積極的に活用していけたらいいなど。初めての会議(と見学も含む)でしたが、今後少しずつ充実させて、より多くの地域の方にしょうぶの里の中に入って来ていただき、ありのままの姿を知っていただきたいと思ったところです。

さて、突然ですが、私(高橋)は、この3月をもちまして、しょうぶの里並びに熊本市手をつなぐ育成会の職員を退任することとなりました。このおれんじの屋根の「施設長より」も最後の執筆となりました。

皆さまには、しょうぶの里並びに私に対し、たくさんのご支援ご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

書き遊ぶ

「孫の笑い話」

ゆうゆう会会長の瀬上です。

- ①「どうしてバアバはジイジの運転中に『右さん行って、とか左さん行って、とか言うの? 右とか左って人なの?』・・・《むむむ・・・!!》
左さん
- ②「リンゴは英語で何というのでしょうか?」
「アップル」
「ではミカンは何?」
「オレンジ」
「じゃあお米は?」
「・・・うーん、シャリ!」・・・《お見事!!》
- ③「ねえ、お母さん、もしも小びとさん見つけたらおうちで飼ってもいい?」
・・・《『こびとづかん』が人気の時でした。》

- ④「あんた、いつまでもサンタさんを信じているの? もう5年生よ」
「だって信じていると言わないとプレゼント貰えないでしょう」・・・《賢い!!》
- ⑤「ミーちゃん、ジイジは今度、学校にお勉強しているところを見に来るよ」
「ジイジはランドセル持ってるの?」
・・・《それは入校手形ではありません!!》



年度末食事会

昨年末、コロナ感染により予定していた「クリスマス忘年会」ができなくなり、今回、名前を「年度末食事会」と変えて、3月18日に楽しい食事会を実施しました。



3月2日(日)花畑広場で行われたイベント「まなびのレコード」でしようぶの里のグッズ販売コーナーを作っていたいただきました。

小雨が降るあいにくの天気でしたが、通りすがりに足を止めてグッズを手に取って見られる方、「アールブリュット展でこの方の作品見ましたー」とグッズを手に取られる方いろいろなところに利用者さんの作品が知られるのはとてもうれしい気持ちになりました。今回は天気が悪く利用者さんたちは参加できませんでしたが、アフリカ大陸を叩いてみたり、簡単手作り楽器など楽しい催し物もいろいろありました。

次回は利用者さんたちと参加したと思いました。

給食室より

4月 イベントメニュー

- 10日(木) 誕生会
- 17日(木) リクエストメニュー
- 24日(金) 春のピクニック
- 30日(水) リクエストメニュー

《花粉症にはビタミンD》

ビタミンDは免疫の過剰反応を抑える働きがあり、花粉症の症状を軽減する可能性があると言われていています。鼻やのどの粘膜を強くし、アレルギーの侵入を防ぐサポートをしてくれます。ビタミンDは、鮭、サバ等青魚、きのこ類、卵に多く含まれ、油と一緒に摂ると吸収率がUPします。



管理栄養士 厚地

医務室より

花粉症

この時期は花粉症に苦しんでいる人が多いと思います。花粉症は《国民病》といわれ、ある情報機関の調査で2人に1人が花粉症という結果が出たということです。都道府県別で見ると発症率が最も高いのは山梨県(72%)、熊本県は34位(47%)ということです。発症率が一番低いのは北海道で28%でした。

また、2025年今年のスギ花粉の飛散量は西日本や東日本で平年を上回る予想。特に西日本は過去10年で最多に匹敵するおそれがあるということです。

《花粉症とは》

スギなどの植物の花粉が原因で起こるアレルギー疾患で、くしゃみ・鼻水といった鼻の症状、目のかゆみ・充血といった目の症状が一般的ですが皮膚のかゆみ、のどの痛み・かゆみ、咳、頭痛、発熱といった症状のこともあります。

《風邪と花粉症を見分ける》

高熱・激しいのどの痛み・粘り気のある鼻水などの症状がなく、目のかゆみ・連続したくしゃみ・透明な鼻水などの症状がある場合は花粉症の可能性が大きい。

《花粉症対策》

- ・外出するときはマスク、メガネ、帽子、スカーフを使用する。
 - ・帰宅時には玄関先で花粉を払い落とし、うがい・手洗い・洗顔をして鼻をかむ。
- ※体調管理、十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動を心がけることも大切です。

《4月の行事予定》

- ☆ 1日(火) 就任式 口腔ケア
- ☆ 3日(木) 訪問歯科
- ☆ 7日(月) 訪問リハビリ
- ☆ 8日(火) ミールラウンド お話し会
- ☆ 9日(水) 避難訓練
- ☆ 10日(木) 訪問歯科 誕生会
- ☆ 14日(月) 研修会 訪問リハビリ
- ☆ 15日(火) 口腔ケア
- ☆ 17日(木) 訪問歯科
- ☆ 21日(月) 訪問リハビリ
- ☆ 22日(火) ミールラウンド
- ☆ 24日(木) 春のピクニック 全館消毒
- ☆ 28日(月) 職員会議 給食委員会
- ☆ 30日(水) 訪問散髪

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

心にささる言葉に出会いました。「一生覚えておきたいおばあちゃんのお守り言葉5選」の中の一つで《ならがなは「あい(愛)」で始まり「ん(恩)」で終わる》人は「愛」をもらって生まれ、「恩」を返して終わるもの。感謝や思いやりを忘れず生きることが豊かな人生を送れるでしょう。と記されていました。様々な日々の中で、感謝する心、思いやりの心を持つこと、あ...忘れがちだなあと反省です。

いよいよ4月から新年度スタート。皆様も良いスタートが切れますように！

～第95号～

令和7年3月25日発行

発行元 しようぶの里

熊本市西区小島9丁目14-58

Tel (096) 311-4588

